

いろいろな使いかた

その他設定

便器の水たまり面を下げる
(水の跳ね返り低減や検便のときなど)
水面下げる

便器とウォシュレットの水を
一定の間隔で自動で流す
凍結防止

電子音を
鳴らす/鳴らさない
電子音

- 1 止 と 水勢 + リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)
- 2 水勢 - を押す



- 3 おしり/やわらか を押す

- 4 ビデ を押す

便器内の水が流れて
低い水位でたまる

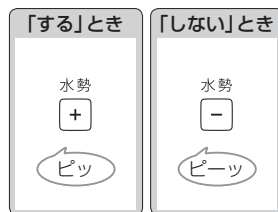
<設定完了>

お知らせ

- 便器洗浄すると、通常の水面の高さに戻ります。水面を下げて使いたい場合に、都度設定してください。

- 3 ビデ を押す

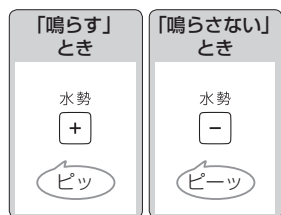
- 4 設定したい項目を選んでボタンを押す
・「する」に設定すると、約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。



<設定完了>

- 3 おしり/やわらか を押す

- 4 設定したい項目を選んでボタンを押す



<設定完了>

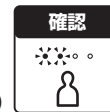
前回の洗浄位置を記憶する/しない
ノズル洗浄位置の記憶

個人設定

個人設定をする/しない

個人のお好みの洗浄位置などを登録する※1

- 1 止 と 水勢 + リモコンランプが点灯・点滅するまで押す(約10秒)
- 2 水勢 - を押す
- 3 水勢 + を押す



- 4 おしり/やわらか を押す

現在の設定が表示されます。

- 5 水勢 - を押す
- 押すたびに切り替わる



- 6 止 を押す

<設定完了>

- 4 ビデ を押す

現在の設定が表示されます。

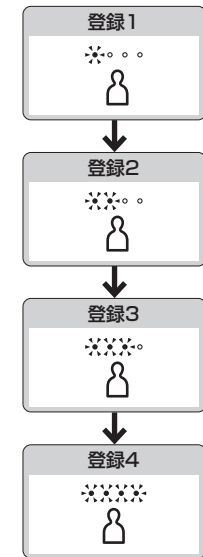
- 5 水勢 - を押す
- 押すたびに切り替わる



- 6 止 を押す

<設定完了>

- 1 個人設定 を押す
設定したい箇所を選ぶ
押すたびに切り替わる



- 2 おしり洗浄などを使用中に「洗浄位置」「水勢」「温水温度」をお好みの位置にする

- 3 個人設定 を5秒以上押す

<設定完了>

使いかた

※1 「個人設定」を「しない」に設定しているときは、この操作はできません。

こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。
- ・作業前に、「オート便器洗浄」(P.27)「オートふた開閉」(RS1以外)(P.30)を「切」にしてください。

流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。

■設定のしかた(P.36)

・リモコンで「凍結防止」を「入」にしてください。

凍結防止中は、次のように作動します。

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)



ヒーター付便器・水抜併用方式

1 水抜栓を操作して、給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)



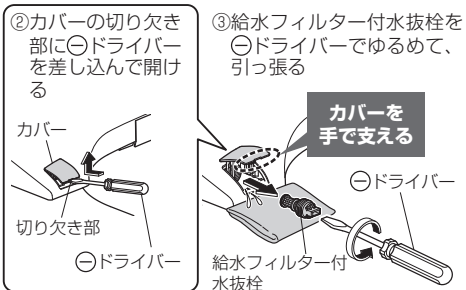
2 ノズルぎれい 押す

(給水管の圧抜き)

3 電源プラグを抜く

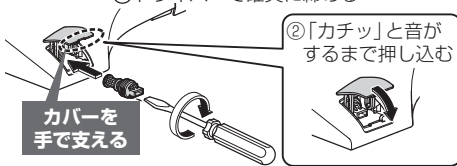
4 配管の水を抜く

①便座・便ふたを開ける



5 給水フィルター付水抜栓を取り付け、カバーを閉める

①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
⊖ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

・「運転」ランプが点灯する

7 すっきりパネル(右)を取りはずす

8 タンクの水を抜く

・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照

9 便座温度を「高」にする(P.18)

・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.53)

お知らせ

- ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
- ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)(凍結して製品破損などをおこす原因)

お願い ・凍結の恐れがあるときは、凍結予防を行ってください。(左記)(製品が破損する恐れ)

ご注意 ・「お掃除リフト」(P.42)で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 流動方式(ヒーター付便器・水抜併用方式以外)のとき
止水栓または元栓を閉める(P.4)
- 2 ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める(P.52手順①)

お願い

・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2 流す大 ⑥ を押してタンクの水を抜く※1

- 3 ノズルぎれい 押す

・給水管の圧抜き

- 4 電源プラグを抜く

- 5 配管の水を抜く(P.52手順④⑤)

■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

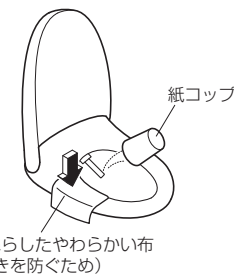
■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

- 1 止水栓または元栓を開ける(P.13)
または、水抜栓を操作して、給水する
・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

- 2 電源プラグを抜いているときは
電源プラグをコンセントに差し込む
・「運転」ランプが点灯する

- 3 ①ノズルから水を出す
(1)便座の左側を押したまま、
(2)リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
・水は紙コップなどで受けてください。
(3)手を便座からはなす



- 2 流す大 ⑥ 押す※1

・タンクに水がたまっていないときは、便器洗浄できません。その間はすべての操作をしないでください。
(タンク給水中は、本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯に変わります。)
給水完了まで80秒程度かかります。(給水圧などの使用条件によって左右されます。)

■残水が凍結して水が出ないとき

・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める

- 4 便器に水がたまってから、もう一度 流す大 ⑥ を押す※1

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているとき、便ふたが閉まったあと便器洗浄します。(RS1以外)